政府の特産物質占め

山海県の縁 (東京八日義編書) 黒田大蔵 火官は八日正午斡旋者たる三 火官は八日正午斡旋者たる三

を合理的に新税の賦課。市税を合理的に新税の賦課。市税

を得ぬさころだ。そこでこれ なの完命が第一でこれがため には市の評量の膨脹またまむ には市の評量の膨脹またまむ

郷男の就任を

目下調査中でまだ具体的計事 市場計畫なごあるが。これは 市場計畫なごあるが。これは 家を見るに至らない

で自人向き編人向きの二つにで自人向き編人向きの二つにが設利して手のつけやりなくが配配八日の抽籤さなつたねけだ。これが建築資金は三十里間を要したが市政会署では更に第二次計画さして二百戸をお祭すべく来年解氷期を待つてき事されることになつてみ

その最初の計畫は百五十五戸

さらなつて居る。而してその時別税制制査の完了するを持行別税制制査の完了するを持 使現を励ぶべく明年三月全議 で助力税の合理的改正の迷念 一、各権税率の合理的改正並 に重複課税の野止

天全省商務會

豐作饑饉救濟策申請

離さされず呪中である

後任に東株理事長

郷男が鈴木奥銀 郷男は栗根穂栽鈴木島吉氏を 柳男は栗根穂栽鈴木島吉氏を から奥株理事長を担絶された から奥株理事長を担絶された

大領事 (上海八日登園通) 森に英國 (上海八日登園通) 森に英國 (上海八日登園通) 森に英國 外交部に不満の意を設し、臨 中止 を 原文 (中止 を 原文 (中

る可要な意義がある

行も容易であり、南京政府が でで補州國政府の破税が計画。 の登算超過を示し、二年度に でで補州國政府の破税が計画。 でで補州國政府の破税が計画。

財政権切扱けの貨機税引上け を全闘せるに對比すれば、満 を言題して繰りあるものがあ

さ音を疑明して左の他く述 ランスは依然金本位を維持す 閉館されたフランス下院の豫 依然金本位持續

見角の風説を流布するもの 見角の風説を流布するもの があるが数解は題對に金本 位制を放棄しないつもりで ある。即も政府はフラッス である。云々

英船臨檢に

配さんらやはり他一見さんに成場して思るんだと――しかし、世 夫人は・ ちょつと贈り取るやり

は、密島にそれを働じられなかつ した。だから、直接情談さんにおか した。

数が無くなった

の いき はいまだなってたまらず。 気のと はいとがったっぱいまになってたまらず。 で 仮形へ行うたついでに、 思いとかったったまらず。

金元素

なんは、お父さ

的に、はたまた社會政策上に問題たるに止まら中國民経濟 ではあるまい。首耶新泉へのなりの英脈であり、また今のなりの英脈であり、また今の にもなるのだが、住は無産者の生活を懸迫

もなってか 機軽減、民力補養率に飼内産 情軽減、民力補養率に飼内産 動さして増税五個単休日案を 断行。更に第二次砂距砂止を でく目下二個年計費を別数根本力 がの基本調査。 資料蒐集を努 かつ」あるが、一方國民生活 民力涵養增稅 五個年休日案樹立に

九百餘萬圖

滿洲國政府が基本調査開始 で、生活必需品課税率引下 助成が針を充分に加味する 助成が針を充分に加味する 年度に於て早くも十四百萬風 現在國債

内國債四億百二十萬七千脚。

ランスは

しかし夫人は、その言葉を聞き 「どんな話か知らないが、 明日で

から、何違へ行つたの?」ときい 『どういふ用事で、枝原さんの歳 て出かけたんですが、途中でやめ い 飛遊さんや、観点さんを整備に たくなりました。此上は、門お殿です。なんだけが戦りです。ななたのがで、」からお歌さん、あなたのがで、」からお歌さん、あなたのがで、」

できないんだから――」できないんだから――」できないんだから――」できないんだから――」であって、カそかに脚子の跳に耳をあった。で変ないのでいろ(と心脈をして唇つた。

井本運送店支店 新京祝町二丁目 新京祝町二丁目

清特最

酒等上 木醬白

炭油米

4

田

200

等上

本

電ニスニあ

割

までは、その高くの事で除って来た。 そとへ高くの事で除って来た。 その人難は、彼のとと あっては臓を出さないで、そのまと 動気のが、行ってしまったが、そのもとからすじに悪いると、そのもとからすであった。 こうして 一般はしいっまで除って来たかった。 求

下石 期州動人希望家库 的過過 

御







生命線を

上 禁 映演

(荒川 芳 友

三 行 一回金工十銭 後尾度 一回金工十銭 を 一回金工十銭 一回金工十銭 一回金工十銭 十 行 一回金工十銭 十 行 一回金工十銭 1000番 1000番 1000番

栗内

積立金金

党

億圓全額拂込

清

壹億二千百二拾五萬圓

横濱正金銀行

B

滿悲

可認物便略種三第

米國產金買上 近く中止

微子夫人は、我が子の心緒を の治家なんて?

に、反戦をして居らつしやるんだ

大香へ 作筆案具食堂風呂付五、大、 作筆案具食堂風呂付五、大、

共同 舍宅 化表電器

横濱

でいって、キット層を噛ん

ト層を噛んだ。

貸 貨 店舗

本一古

なことが、どうしてわかったので戦闘さんへも行かないで、そん

求電

| 新プローのの手を | 一般の手を | 一般の手を | 一般の手を

姓名在 計

天草丸 (雄學清津出州

泉泉

大小五種類

滿川只 金里·清津出明

0

回

顧

(九)

宅難緩和

乗り出した<br />
市營計畫

自治委員會も

東上中止は雪然だらうご見め は歯響者の金値の材料の足し にもならぬご解明し、假令一 で下めかした、右に精しては 消息通も促興金融會計發表の 個に限つて以来この一週間据 がご十四部一。 されるか (ワシントン七日最超通) 米 図の金質上政策の當否の論が 電ましい折祸、米 國復興金融 を計本長ジョーンズ氏は七日 和らげやうとするに、概要をその 電おまへのやらに、そんなに一々 電おまへのやらに、そんなに一々 ではないつては限るぢやないか。 夫人は、そとで「難つて、さす

「既は、もうかやうかと思ひます。今夜は大熊鏡れたから――」といつて、公禰は思ひ出したやうかと思ひま さへ、何となく苦しかつた。たかって行くだらうと思った。気をは、かと一しよに融してゐることを がに困ったといふやうな表情をし 「酸人とお飲いのは、茶朦朧のと「だらしてといつてーーそれは、

してはまづ市委住宅の計画

特別市の

で、なくつて――?」
「いゝえ遠ひます――でも、それが事實なんだから、際に聞いたつかし、牧願さんといふたは、見かかし、牧願さんといふたは、見かなんて、特あんなものだらうか」

御希望の方は歌誌三七三二番 資家 店機 二月新京百貨

たんて、皆あんなものだらうか! 火編は、再び哪些した。 大人は眺めた。

**北對於由無命小八〇〇八** 

一款買到東京へ国際列車

华星

の光さんも軽脱さんも、徹じられ

京

楽洗張専門

るが原

北日本汽船株式曾社

高品

買上の榮を 新型多數御 國政府本年 觸東軍滿州

替及型五十號型金十七國軍事



物履御 世 こらや履物店 野 電二九八一番 町

岩城セメン

トカラ

セメントと

-石灰の着色劑 新京代理店

成

西公

の司

t

九

料和理洋 東四条通

道。华 青山御流 村岡翠壽園

対野町一ノ七 牧 雅 引起 荷物 建築材料運搬



業 資格の低廉…

開 日 ーさして他の點に 樂!!

即立寄り

是非一度



代理店仁和洋

三参町三丁目十十七里二五八二・三四七一番

御待望にピッタリ適つた 一大權威の

折衝を行ふ除地ありさの見解 を持して居り、八日下阪の中 動顔相き騒西側雷業者さの協 の結果をまつて農田等相は 代表に訓戒し印度側き最後の 代表に訓戒し印度側き最後の

ため最後決定は、政府の裁断が同に懸つてみるが、廣田外相さしては今回の印度案は我組まり見て到底総業設選の實情より見て到底。場所を決裂へ導くこさはあるまじく我より更に対策を担いので、政府の裁断がある。

聯盟改造案に

獨首相何等提案せず

も得中でする見地からして勝め

のためには結果にか おものではないが

比島獨立

門等科苗

▲多田・場(海軍科學研究所) 本多田・場(海軍科學研究所) 本の日午後七年三十分廣季天 から 「東醫部)同上チェハルから 本師時候(登口税職長)八日 本師時候(登口税職長)八日

あるものごかいるればのに随利の何は必然的に随利

は絶動に避け継いもので取られるに至った 政局の危機

一議出一致局の出ま

登された事物があるさ、協定 野事協定を締結し其機用省首

総定並に相互不可使に闘するに於て大要左の知き六ク後の

月風 中 三 三 和 三 三 和 三 三 和 三 三 和 三 三 和 三 三 和 三 三 和

**港**2000

ないので明確には云へぬが

百九千三

は山口吸友幹事長き鈴木舗教(東京八日酸図画)政友會で

氏の鎖目群任を許すや否やを院舗に請つて決定する事さな

陸軍の批評

吸治、立憲政治が遂行されるものさ考へられる非常時 局を目和に控へてある今日 松園氏の様な行動乃至撃明 をなするに足らない。何故 に斯る行動に出づるものが にある行動に出づるものが

交。自主外交を標榜し来つた 作名氏を表看板さして積後を 氏の脱葉は致界に多大い衝動 にの脱葉は致界に多大い衝動

四 と称す。表面は影響が態度を とによりで質的にはまだ強制

を据くか今の所未知歌である もに続くないが如何なみ波紋

した後念よ何等かの政治運動

各地遊說後

秋田畿

東京に、即村香配官より夫々 中自由に各方能を表数する物 事事官に、即村香配官より夫々 中自由に各方能を表数する物 自命を修選され、気おら、用 定りある

海際金

を打合せの結果公開洋右氏は 最近の翻案の具に整すには して付くやうにせんばならぬ で行くやうにせんばならぬ

大体をの通り妊娠をじて迎へては表加批評を避けてゐるがでは表加批評を避けてゐるが、民の政會脫離問題に輔し陳軍

は、は、さいよ事に意見一致はない、さいよ事に意見一致

さしても五半十年の月即を 能であり。騒いて改革する のであり。騒いて改革不可

**發灯に新期でられら管である** を推開財政部發行幅に旋券は本月十五日發行の豫定であ を推開財政部發行幅に旋券は本月十五日發行の豫定であ

動を起すかに就ては各カ船か 側なた観察に出てい何なら運 のなりでは、これでは各カ船が

を起すか 政治運動

(東京八日登副画) 秋田請長は本日午他元時松明芹石氏をは本日午他元時松明芹石氏を訪問し、瞬員留任方を動告し若し松岡氏がこれを嫌かねば若し松岡氏がこれを嫌かねば

の見地より脱離するさいよ

てるら

一萬圓彩票の發行

月に延期

(B

理

で友會遂に

脱黛を承認に決定

の翻煮動骨後左の如く精つた 焼をその私邸に紡ひ縛骨酵代 氏をその私邸に紡ひ縛骨酵代

情まね 情本観念に付達はなく。同 であっまれな心事には同情を であって我々さ

中野は駒の二氏を一中島知久平代諸士。

(東京八日發國頭) 八日南藤

新政府は今後共産軍に對

公布

動を執るこさ 発打演のため共同一数の行 動を執るこさ

▲銀塊及爲替

조

170 三垒

謝近火御見舞

三垒

海外經濟

何等かの運動を祀る

に遊説をな ちんさする

御下賜の眞綿を捧持

町村宮內官着京

高

1000

朝會政治である。

オランダ政府

**原間 君は結局制育政治の變** 

議長談議院

議員解任は院議にはかる

松岡氏脱黨の餘波

の更生の唯一の消であるうっためのみならず政黨自体を政黨自身はよく反省すべ

ショではない。何以までも 特本の破場を共には建設を 特なのは果今度の思ひ切つた 行動に出られたものを思ふ 同君の思想は決してファフ 同君の思想は決してファフ

6多大の輔心を持たれて異るが空間氏が脱退制に國民同盟の中間氏が脱退制に國民同盟の中間氏が脱退制に國民同盟の中間の特別の関係の対象を表示。

即時獨立實行方につき各要路でした。

(ワシントン七日最前頭) 七要路を訪問す

電に對抗すること ・ 共産軍占領地は共産軍に ・ 大成及武平方前に終て廣 東軍が福建政府を攻職せん でする場合は共産議は廣東 でする場合は共産業に

出一<u></u>上現來月月 蘇限限物

即時獨立實行方

を訪問するさころあった

費さして三十高国を受附す。新政府は共産軍に對し軍

業者側さの間に意見無隔めるては、外務。商工商書品さ書

一、我國が日本總布四億碼の 「大・一月」、十日我代本が提 で十一月」、十日我代本が提 性項さしたものであるに對 修項さしたものであるに對 修項さしたものであるに對

中度案の百五十萬俵買付の ・ 随つて印度側は一部四日 ・ 随つて印度側は一部四日 ・ 随つて印度側は一部四日 ・ へ回の印度案を提回し十一日二 ・ へ回の印度案を提回し十一日二 ・ へ回の印度案を受諾する には日本稿布四億編の容認

内政會議に於ける

「東京八日翻頭市」八日北部 に通した報告に依れば、福建 に通した報告に依れば、福建 には現立實書以前既に攻守同 記を包含する種系協定を精結 した事守が判明した。即ち福 をの代表をして十月二十日共 その代表をして十月二十日共

事往來

蔵相譲步せず

ば内閣の危機招來

つつわり。現に物質協議前 程度返進行して乗り、若し高 際案に對して用書魅力を感じ - 規を見るさも余儀ないさする

横磯州が自り更生主義一點張程度返進付して居り、若し高

出された印度案の諾否に研し

リー日印會商で印度側より提(東京九日発展通)四日のデ

我が提出せんごする代案内容

郷し居らず、随つて我方も

## 結局 間 開 六百萬圓 きは

14 74

吉野次官の

報告に依り

十萬俵以下に低トするを翌に関する印棚質付量を召五

(=)

## これ位では决裂させ度くない 四下を前に商相語

6う、これだけを日本が獲得するために従來我調に對 し顧る好感を持つて居た印度農氏の感情を感化せしめ るこさ、綿葉よりも輸出額 の多い難貸及び人絹を綿葉 のため犠牲にするこさがの

「東京九日愛國通」八日の定 ・ 大岐州より中島西和の西下を ・ 村島西和は同日平後九時二十 ・ 本版明ましての決意を被避した ・ 本版明まり夫々商和に對し我 が常業者の意向を取り纏める ・ を諒さしての決意を被避した ・ を諒さしての決意を被避した ・ を諒さしての決意を被避した ・ を諒さしての決意を被避した ・ を訪さしての決意を被避した ・ を訪さしたが、商相も之 ・ を訪さしたが、商相も之

折衝の餘地あ 全商は全歌が清明が之を明明は全歌が清明が之を明明は全歌が近のでは、 は他来會でなかった純商鉄に従来會でなかった純商鉄に基急通商級約改訂の が事件さして之を取扱ふべ 会で、其の意味に於て日印

一自分 は日本明が 十一日の最後案に立ち返っ 十一日の最後案に立ち返っ の進捗を圖る事が目下の急 務であるさ思ふ

ぶに至るであら

民間に

氣動く 强硬論緩和の

「大阪八日養婦通」日印曾通 の政府の意向を体へるご共に の政府の意向を体へるご共に 結業會臨に於て圧司東洋紡副 社長ご會見し協議した結果。 結業團體說母の自信を得たの で 式語で中島商相の西下で協 語したので中島商相の西下で協

「大阪九日穀、園」紡績聯合 を委員長、東洋紡駅吐長圧司 を委員長、東洋紡駅吐長圧司 を委員長、東洋紡駅吐長圧司 に出給日本棉花局業會長さ共 に出給日本棉花局業會長さ共

中島商相も西下 然し斯る主脳部連の意向を綿 一任さいる事に落ち

銀行 戦區救濟に常てる

ので直ちに銀行界さ折衝の信頼と認められたので平津銀行抵っさして三百萬元を情飲し抵っさして三百萬元を情飲した。

元を抵當に 界から二百萬元借数

福建政府と

共産軍間に

攻守同盟の秘密協定

し糊食兵能必要品の供給に 動し便宜を闘るこさ 一。氏衆運動に賛成し農工支 配の政権機立に協力するこ

次客、若公商務書記の中島商間書業者さして監練 氏の自電陰に質され

業三期体の取合委員會に移し

漸く鎭定 ム内観

風は漸く一段落を告け、第一 の報告によればシャムの内 「東京八日候國通」七日外務 山、完全なる立瀬君主制が樹し、完全なる立瀬君主制が樹った。全なる立瀬君主制が樹 廣田外相祝電

布したさ、彼つで日本側も右 作者、條約文並に翻定者を会 作者、條約文並に翻定者を会

総篇なる税略を確した ・ 大ので、演出外組は日本政府

中國共産黨の 巨頭三名

東京で捕はる

原西省新建縣出身である 版西省新建縣出身である。 大東県八日曜園通」中國共産 の結果遂に右三名を逮捕する に照虹を健するさ共に引續き 取関中である。右三名は薬弋 で、何れる で、何れる

各地市場

▲上海日本向

來屋パン店

海に預り有難く不敢収以紙上御禮申今朝出火に際し早速御馳付被下與見今朝出火に際し早速御馳付被下與見

近火 八御見舞 行

材建 料 商築 新京日 \* 問題り

謝近火御見舞 大華窯業公司分行

御見舞 洋行 後田甚太郎 支店

**銀話二人三二香** 

謝近火御見舞 おかめ庵菓子舗

**電話在三人會** 

謝近火御見舞

B

謝近火御見舞

松本理 本根通四

毛皮商 パリスパ

男子一名 二十歳まで日本人に限る サーニ名 要すの希望のガロ 要すの希望のガロ

水樂町一丁目三

項の周知方を依領して来たか 州威斯京県道濱野島長楠口軒

ものは一々党出人に返さね

で下さい者しパラパラに彼の際は是非国く縁つて置いの際は是非国く縁つて置い

吞放題で

飲水とてる

水焼町一丁目朝開地に追収箱 水焼町一丁目朝開地に追収箱

初京日本基督

十日、日曜日)明六時四〇分上 り西会園観忠碑前にて(新京 日出時制七時一分)雲市民早 起音は七時から

つざひ

日の出を拜する

十五日から受附を開始する講特別収扱ひの年質郷史を来る

男ます故に未納又は小足の 製井)及印刷物に限られて 製井)及印刷物に限られて

樋口頭道溝局長談

一時に多数飼差出の肉は電 コへ飼売出を願ひます最も コープ目に在る関連清軽局窓

市年秋創立された日禰婦人に で官邸で例書を開くこせしな つたが日禰親善の主旨に賛同 して講洲國婦人の入書相理書 して講洲國婦人の入書相理書

年賀郵便に

日一週間に且つて大連、安東の人々それらを数つてこの歳の人々それらを数つてこの歳のがけるやうにき新京地方事務所では兩拳線署、各種公共園がその他き動合して來る十四

係を中心に大いに意気込んで が関型の健しは毎点では最初 であり地方事務所社會

局、寬城于方面は二道開郵の新京郵局、西三道街の郵の新京郵局、西三道街の郵

滿婦人聯合會

すき焼宴や二国五十銭酒は上 等で何程でも勝手に呑み放射 外に何でも食い放照其で女中 のの付も御断りさ言ふ變つた を製掘も曜町四丁目食道県祖 かの謝思奉仕は仲々評判がよ か早くも満電の忘年曾を初め

ん。千代子さんご言へ仲馬捷中で順技さん。

た一十年増だが致われて過数を一流組まる。 に関子さんの如きは

★修町一丁目観測所橋古展荣 ・ 「八関八日午後等時ごろ自宅 ・ 「大関八日午後等時ごろ自宅 ・ 「大関八日午後等時ごろ自宅

「ヨハモ研究」「四」

吉川 牧師

一時三十分で方線腫病院内 尾ユモエさんは八日午日十

さなたにても例川窟を歓迎い

10 10

高歌 商組 に見られぬ 艶聞な 店棚も新設県屋改築落ついた

るもの)を落した

「コロナイ費の精神」

盗難居

あす例會

ある蒲洲國ポスト(青色)へ

く食みに磯がない。しかも飼く食みに磯がない。しかも飼って住むに家な

一打合 せをなすべ 事態の研験祭署。数化帰間 事態の研験祭署。数化帰間

瀬に鳴ぐ哀いな人々も中く

一日午後一時半から助方事経費行う法。よの他について十年の各地さ相呼越して一大

年一月一日の日附印を押

成つた年賀狀には何れも明

宛鷸に送達されますから日接雪局から行義に仕立し名東京。等の各な機雷局宛真

本郵便局さ同様決して選些

分(二)錢)市門一分(一錢)

機)市内半分(七座)官製の街私製業等13同國幣一分(1

せるこさにしてある。 いと受持たせて馬車 がを受持たせて馬車 がある。 でのは来る様な特殊

來年の年賀狀

新京

吉林間

國道

殺倒の見込み

ごうか成可く早く

高橋局長さん今から心配

は新義州、京城、日本内地

の最先便を以て名宛人に配適局に送達し置き一月一日の規定に依つて直に夫々配

年もいよく押酷つて

る知らべらない良れな

破日一品には帰る

**教女子青年會**。

三、年賀狀は聞く縛つて其上 に年賀状さ肥戦し(雷島か 6不日印刷した置紙を配布 しますが別に御用の向は局 の窓口から申受下さい)域

で目ま苦しい語階をするが。 始にはそれこそ全島員棚動員

割骨値を浄想してるる。
別骨値を浄想してるる。
以内では、受信の約五の設信の約七割、受信の約五の設信の約七割、受信の約五の設定を持ちます。

く凌に八日より沿堤の上砂エ の新観道は、観道島に於て鋭 であたが此程樹

ずれば、雪中吉林へのドライ

である。 ・でなり瀬洲の京都省林で図

飛び

も僅か一時間除じ思ひのま

の年賀狀収扱氏は

# 伽護腺肥大症で昨夜急逝 兵衛伯薨去

(東京八日發國通至急報) 急に衰弱をまし、 後六時脈搏微弱意識不明となり午後十時五十二分遂に薨去し報) 山本権兵衛伯は攝護腺肥大症にて療養中の處八日午前よ

伯の生前の勵功を思召され九日左の如き有難き御沙汰あらせられる旨洩れうけたま(東京八日發國頭至急報) 山本權兵衛伯薨去の報天聽に達するや畏き邊りでは山本 はる

叙從 正二位大

動位海軍大將

(特旨を以て位一級を進ませらる)

十二分薨去した 本権兵衛伯は八日午後十時五(東京八日韓國昭至念報)山

治三年極軍兵學寮に入り司七五白助の三男さして生れ、朝 年でもる。同十八甲浪速回航 年征臺の役に從ひ麻軍少尉に

れな人々を救ふ

末同情週

間

分(四総)市内一会(一銭)印刷 有封霄狀々消辨國内、鑑東州 有封霄狀々消辨國内、鑑東州

れる様な酸

する事はりりません

來る十四日から各画体で

新京で最初の試み

掌握し功一級に叙るる。同三は何軍大臣さして家の楊磯を 男爵を授けるる。 日路戦役に

十五年動功を営て華族に刻し一年編纂大臣に任ぜらる同三 十十伯爵を授けるる。大正二十七年海軍大勝に陸る、昆四

本伯

(號外再錄)

長、簡單省軍務局長に歴 110 ひ次で編軍次官を経て同三十臣副官さして傑軍功四級を延 日清戦役には大本管附海軍

顕基を定められたものださ 様を博せられて帝城今日の東 好元帥も古今未曾有の大

海友會から

へ中左の如き形域を競した 係在郷軍人會の俳友會では直 保在郷軍人會の俳友會では直

稀に見る偉

さる云ふこさが出来る。明 中 本伯は意の記述者である 大な稀に見ん 偉人であつた 大な稀に見ん はんであつた

學校入學 亞細亞飛行

類を紅潮 とながら一切を紅潮とながら き語った いまして

算討議中 政府反對者 發砲

「バッ七日酸國語」七日佛下院で豫算討論中突如銃竪起り 競場粉糾し一時討論中企され たが心原因は政府度動の浮像

井に引火したもので、損害は原因はストーブの煙突から天

初等校の

時神あつた、司登陽できかに し終つて有賀課最その他から し終つて有賀課最その他から 6有賀帰務課長、神學、體育 で、引續き正年から室町小學 校で行はれたが、蒲宝本社が 協議初等學校の体操食園は九

月一日から八日まで

一作年 は競信が八十六萬で今年は百五十萬、受信が昨年八十六萬で今年は百三十萬の見 間東事 けふ南小學で

体操查閱

正十二年再後内閣總理大臣さ 一 辞職し現在に至る年内閣總理大臣に任ぜもる大 なるも不敬事件の責

く語つた 山本伯の計判に接したのの 悼の意を表す (東京九日義の國) 大角緑相 | 関下の御郷去に對し騒んで哀に東京九日義の國) 大角緑相 | 関下の御郷去に對し騒んで哀いがある。

煙突から天井に引火

ノ屋全焼

りまた画映

一京新目面眞上其切親噂叮田松は齒

豫 九月午前八時五十分ごろ日本 原種一郎氏方かる出火し念報 に接し新泉消防線並に満洲或 に接し新泉消防線並に満洲或 附近は家屋が際集してるるのの内に一棟一戸を全続した。財道具を取出す暇もなく忽ち **満じ、が、日南明肖防跡員の** き朝のこさして一時は大騒を 築いこさして火の廻は早く家川火に努めたが同家は木造建 大を飼り基合社に動めしてる 京に潜入し何喰ね風を築ひ衛 京に潜入し何喰ね風を染り を自五十圓を詐欺横領し行方 不明中のさころ去月十八日所 京に潜入し何喰ね風を壊り がある。 ののでは、 ののしてる。 ののでは、 のので 

する管である 習してゐるが近く間島に押送 対後中を逮捕し目と詞署に留

を横領行方をくらました。目八日午の四時ごろ母金四日岡八日午の四時ごろ母金四日岡八日午の四時ごろ母金四日岡大野県大大郎(1111)は下諸横領逃走 下新京者で授食中である 大同組の

**武和**以井元新京**破遊事務**所長 爭奪戰 開碁優賞カップ

コロムビア

新

賣

第四五一號型

意志鞏固氣魄廣大 道でて

質來パン

は十字型にはんで出来るだしなる番封でしばり多いの 朝日本橋通

長は次の加き希望を述べてる だかも次に年質狀が外の 日まで特別取扱ひをなすの 事一に年賀は早く出して頂 間がひまきり破損 一度に来る。これがためほ

しく宛名を書いてもらいたちが年賀狀は特に正確に詳らが年賀狀は特に正確に詳 高月町家庭研究所で開催され 李権大台は九日午後四時から 李権大台は九日午後四時から 野村營業長

投野村富喜氏はさきに事務引 付合せのため川張中であつたがいよく十日午後七時三十 分費はさで家族同律の上東京 機稱。 新京總道事務所新營藥 明日着任

酒卷裁判長 而盟團係

は機井五一郎氏が補せられたを以て退職さなり、其後任にを以て退職さなり、其後任に 八日附退職 後任は藤井判事 

あすの催し

請

負債協致し

ます

・お正月祝餅

材料吟味質目は正し

東二條业り

元憲兵伍長

さんの悪事

るを新京機領事館署行口。

捕はる

春畵密山曾者

主催は国家高女並に体育聯
ギャーの妙技を一般に秀開
は、巻見雨線のフキ女佐々江、 造見雨線のフキ

人物合き例は、午後一時か婦人達の集ひ 日満婦

に眷属を落資するものあり。(大連八日酸は通)免収米大

Columbia



世界無比!!



**ド威謝** 十一日より 集め全店を擧げて大奉仕 京吳服の粹を滿場に 大賣出人 十五日まで 全商品二割引 時間奉仕 午員九時より十時まで 工軍奉仕 月夏とけの多少に利す 盛竹キママ 入 塩 寿 夏は 朝日 撃 曜 茶 寿 3枚宛鴻永輝く濃泉がします 特價品の-10,00 ..8.00 北村吳服店 會場演藝館 話二五七三番

アビムロコも器音蓄

アビムロコ・ドーコレ

電二九七三番

**个個科器學士 松 田 德** 電話四九五八番

松田齒科醫院

笛町學校裏通(金光教會紡川) 但し念患は比の限に弁す

至午後九時 自午前九時 日職終日は午前中

新築移轉開業披露 地金元教會員に移轄開業致しました彼つて自今特別総院は今般日之出町二丁目二番組より大和遺大元

所築成の十、から開業

地に借かけ密管に奔走りであり、外に一名目下奥中であるが、外に一名目下奥中であるが、外に一名目下奥

開業紹介

名籍汽車食気は二條軒さ

6大使官邸において。

名流

教会をさつた、向この事件に

は州雷の知名職家大き在住の

下日に十日相乗被路

たもの。歌に其中には十歳に足

「字穴、どうだ。加賀爪が青山に 「『ハツ、略今お木で、派」はつて居 「カー、 「「・ 又談」ったぞ」

ら、大分物田はしい容子がお見え

相費

實驗に供す。尚詳細なる日本文竝に 費出中に限り總代理店へ御来店の方

何人にも無料

行

溯洲文の説明

者あり御申込夾第無代進屋す。

知らずして、天下の御法に帰れ

彦左衛門は大量にろた出人後属

肥々甚十郎 画目ない。ソ

御宴會の

東京市定場機数コニア目で変数 Camが早日川東京市定場機数コニア目で変数 Camが早日川

國總代理店

日通八

シーズンが参りました!!

満點の

部内の経済、網班三人は何被数 終らば地膜大数となったる、高

は限となく後めたき思ひがするのは限となく後めたき思ひがするの

の除類である。何としても一

ざいますれば、何れ近日………」

新しの標平板太殿や、青山主歌がいますれば、何れ近日………』

原になって

と代ろ代る來居った 教人修覧の一件で、松平校太郎。 青山主膳に頼まれたな。日外も くも聞って、 のこ

●九紫の人

直ぐ判るではないか。貴殿程の學ぐや、だ様なことは他に関かんでも 「オ、其事かな。加賀爪益十郎殿 何だか嫌てるやうな一言。花十 れられたは、天暗粉電神佐の役た を置させる。依つて大赦の中に入 三代将軍の御明智・御沙脈の宜し 老甲若年寄の手柄。及それを

ひ受けたが、之を張く強とし、

上朝のれば追々さ向上せん 意志堅固に善雑

(百十五) (百十五) 機器上位 知ら山婦女子等まで。命を確ふと

●一百の人 他事を企つれば 失電あり本分を守るが安全 長さ辛さ亥が吉 長さ辛さ亥が吉 同さ戻さ升が吉

Xしあきる

十二月七日

改良新式

家庭

用

紫外光

治療

十二月五日十二月五日

不宣傳大

賣出

十二月七

十一月九日 土一月大日

物馬順調に展開を見るべし 焦らず急かず定 はるひ ×たこま 切符發賣

新東連絡物子(往復切符へ 「東二割引"、 「船一割引" 「東二割引"、 「船一割引" 「東二割引"、 「船一割引" 「東二割引"、 「船一割引" 「東二割引"、 「船一割引" 「東二割引"、 「船一割引"

特許ラデオレーヤーを一度手にする人は、東を興ふるのである本番叩ち改良型事を製いるものである本番叩ち改良型事を製いる所に潜蛇し各種の観治の凝災に獣し良総

この器械より 酸する張力なる放射光線

をある。 一覧を が表現の期待は出 のである。 乗が一時三 のである。 乗が一時三 のである。 乗が一時三 のである。 乗が一時三 のである。 乗が一時三

迷惑する日自己を守れ、の人 他人の事に係は

新京出張所奪時医O人力を 無天出張所奪時医O人力を 製話四二三七番

大阪商船株式會計

大白の人 流れに従ひて船

常日日新聞社

て分限を忘れざれば年史日

ばいかる丸 (午前十) で対りい丸 (大阪)行

水道。故障は 新京中央通四十二番地 瀨 電話 I 四三 八五 六二番 所

て観察の快

御

診療時間 際 科 科 至午後五時 町 1= 目 日曜祭日 電話三二九六番 午後休診

000

1 キョシ り、老製するのは、悪質人間の無いなり、 となく、いつも元氣であれば残臓に使されることなく、いつも元氣であれば残臓に使されることなり、刺氣のある人が使用せば殺薬が扱となり、刺氣のある人が使用せば殺薬が扱となり、刺氣のある人が使用せば殺薬が扱いとなり、刺氣のある人が使用せば殺薬が扱いとなり、刺薬のある人が使用せば殺薬が扱いとなり、刺薬のある人が使用せば殺薬が扱いとなり、刺薬のある人が使用せば殺薬が扱いとなり、刺薬のある人が使用せば殺薬が扱いとなり、刺薬のある人が使用を見からである。

く本器は他の技術がなく 用 

防寒草阀が

参りました

はき物は

大轉機を興ふ。以上の畑舎がラチで、 大轉機を興ふ。以上の畑舎がラチで、 大轉機を興ふ。以上の畑舎がラチで、 大轉機を興ふ。以上の畑舎がラチで、 大轉機を興か。以上の畑舎がラチで、 大轉機を興かる エーテル振動を人 無ない人はないのである、全間ない。一、細胞マッサージ及白別は血管に酸化作用を見って、 3 量のオゾーンが發生し、一、 3 量のオゾーンが發生し、一、 3 量のオゾーンが發生し、一、 3 量のオゾーンの治療法の医療に、 4 の間での増殖作用を集合で、 3 量のオゾーンの自動で、 6 重要等と併用の場合は、 5 量のオゾーンの自動で、 6 量を対し、 6 量を対 は特に總代理に合である即

東北店

東に効果が一跤と迅速である。 東に効果が一致となれば如何と励いればる場合は龍磯の姫 の作用をしたなれば如何と励いればる場合は龍磯の姫 さ近代的治療器、 き近代的治療器、 外皮科博

診療(對性的) 日曜祭日午前中

性泌尿科 同

意味二六〇六春 醫院

白 炭石

松 電話二五三七番 茂 洋

電話三〇九〇番 前町鮮銀北樓

忘年 會 新年宴會の御注文多數に 1 付 5 御用 下命 命の の節 程は 特乍

御

. O & O 3 K 4 きが上に 白か からず、曲も強 山高きが故に貴 らざるべからず





軒

辯護士

沼田勇法律事務所

電話二一四七番入船町四丁目廿九ノニ

京



五七三話

に新嘉坡

本取が局に作ねてシンガポー

まれる様で目下間地にある飛 アン出発シンガポールに向つ アン出発シンガポールに向つ

では数ク月前より着々準備で 地上自任豪であるが中次のシンガギーをの航空階増設に就

(大連八日菱観通)上泉中の 電電會社県客西山庁内氏は八 日人港の『うすもい』丸で帰

力法は計慎健行、借入金、水の側に借つて思るが大体をの側に借つて思るが大体

は人が大戦。仏

十三関かるれに次ぎ

兵員百名早くも出發

四南派說得

本年中の開會不可能

境のため。今朝南昌に向つたけ領につき飛介石氏と意見交は韓島對策並びに財政能切扱

特派使節南下

孔辭熙北平歸着

「上海九日産ョ通」 保棚氏一た一大は第四回全体會語の會別たる十二月廿日宮には使命を果して縛り、會請は絶対延期せしめずき種して苦みが境トの南京、西南、福峰の微妙なるは思はれず、結局中年の閉管は思はれず、結局中年の閉管

每週平均額(自十一月二十四

荒木所長山内地方係長でま

組ま物で人件登は出している。人力車月捐に額する件一、馬糞袋ឹ鐵破の件

様。 上田、 利は大原が長

一組合一から時間の

日の

和に見事することに一次

正に関する提案ありこれも優 料金に減する装が場出され番 料金に減する案が場出され番

中銀貨幣發行高

日平三十日)

と利量から希望を述べる場あ の大委員を招名し、これに経 沿出、得丸、助崎、上田、孫

同一であるのら組合網の言ふなら結果において市側の鑑役 なら結果において市側の鑑役

日 表 はて秘密會に時間の経済を期を避けるので大原植って秘密會に入つたが川原

理事を指す事さなつた

々員に字に美蘭州總顧問。

上陸は九日より行はれ。たの「大神九日最同語」本年本在

時創により大連即發化行の錚

世界の結果を報告。これに耐 との情報のは方の自身を代表 との情報のは方の自身を代表

一大原、伊東。加維の三季員

六分配は可能

四山電電理事歸任談

一年は政府へも

一、(南京九日朔國通) 汪精術氏

建の事態に異變を生中

軍備を整へ 西康に最後浦際

の西康に對する西蔵軍の侵略(南京八日韓州藩)中國西部

軍の侵入を発れない様様で

ドの須賀大佐の率のる思い十

10年版 年 打合せをするまころのつた 後二時北平等年後三時间順飲 策はその後積極の難幅を登けた大 の機器銃多数を擁し新兵三千 人を増減し最後 標を登した大

馬糞問題や

組念陳情なごも審議

得丸氏虐めの秘密會成立

地方委員會の例會

福建の異動に備へるため

あす中に上海を發航

今村<sup>の影</sup>

後一位追贈の御沙汰あるせ、時間に光立ち九日かの如 せち顕著な人動功を思召さ

英國海軍の舊知

故山本伯に

從一位を追贈

葬儀には勅使御使を御差遣

畏き邊りの御沙汰

洋服は定評さ

井上洋服店

「東京八日 を認通」渡日中の の八日午前九時東京衆旅客機 明氏は避信省さの打合せを終 明氏は避信省さの打合せを終 原保 で帰任の途についた

大格が海軍祭局で種々行台を ら青山帰郷に於て行はれる事

れることとなった 観被進) 一個は罪儀常日は「三陛下より 制使並に轉使を的美遣遊ばる て記憶され、また伯は偉大なで見つて力があつたものさしいのい伯の努力にお加せしめたのけ伯の努力 れて居る。一役に伯は親英家 人々は伯がかつて青年時代英 あるので一入哀情の情にうた あるので一入哀情の情にうた 衛山の郯城は同伯は我樹軍の「東京九日發起ョ」山本権兵 さして知られて居り、世界大れて居る、一段に伯は親英家 十二日に

山太橋兵衛 大將山本櫃兵衛伯突如薨太の「ロンドン八日酸昭明」 海手 要港訪問 令長官 薨去を哀悼

の後任 酒卷裁判長

(東京九日砂崎県) 血盟順事 ・機任は東京地方裁判所藤 井五一郎戦事を第二部長に榮 株させた上起出することに八 日决定し、その旨力日使令さ れた

藤井判事决定

軍事に領する研究。右に領すに領する研究者等であるが何れら配協格校。職員指導の下に國防協・大連商業の時間が発育等であるが何れら配協格校。職員指導の下に國防協格校。職員指導の下に國防衛、大連商業の時間が発育等であるが何れら配

藤原郵榜司長

大連各中等単校では生徒の

い現象

が競生しつもあるこさである又は関防軍事的思想研究

行高は一億一千四百州五高風 で、昨年同明の一億三千四百 強明の運建ご特産価値下系に よる特産取引の沈滞によるも よる特産取引の沈滞によるも は九千萬程度 で、本格的出 個りで共に一 は九千萬程度 で、本格的出 個りで共に一 なり、質金のの質量 本年七月設立古

滿洲 R 徒間に

にも六分紀が出来るだらり 特に對しては経験金を配常 特に對しては経験金を配常

対め心では産金質上復格をたの通り央定九日公長した 一条分(見)に付。國際二関

八木氏來京

外事科及八木皇二郎氏は九日 中後三時卅分智列車でハンビ ・シより保京した

第一回の配名

產金買上價格

五十一日

午後七時、

同七時

新商店街名懸賞募集

大連の各學校内に競つて

軍事國防の研究

水利税の踏襲は

國是に矛盾だ

鐵備開原から撤廢を要求

州語す

紡績各社

菜績頗る良好

瀬州國系五十三次國杨院會議

國務院質議

使の要認連動はアップ民族の かで生徒の研究問題の中心さ なつてのる、要するにこの生 の生

お成選動である。 東校生徒の学園的悪想は注目 本れる職である

需り従来不統一であつた手料は外観人で住の登録でなすに

日も創一の額に決定されるこ

二年据山き内定

辭

輸入組合業績

平

街

特產出 為替取引旺盛で 廻り遅延ご

明勤榜を命す、新京地方の務

朝京地方事内所

数二千三百八十三口、排入組合員 四十八名。用資口

新京山方事務功

四年街川方事が近勤めを命す

川上 武台

警察官の素

質改善の爲

百八十九則三十錢

各省に警察官

各種の問題が山積して居るは、電路をおけれきも今請せはして居たけれきも今請せはしいまといい、電料料金問題は中央ない。電料料金問題は中央ない。電料料金問題は中央ない。電料料金問題は中央ない。電料料金問題は中央 すべく何等数殺に威する施 軍閥は代學良が鮮磯を巡迫 元平水利税なるものは、舊 設をなる中不常な課況をな

東亞產業協會

だ云ムにある 成立の今日右校の協殿は雪 もので機會均等新國家

盛大に發會式 大和ホテルで

事務所の設立を見たので五日 だが最近中央通十二番地に新 時間は比淡晶和台新京中央事 同所に移植八日役員曾を開管 れた東亞産業 カでは燈油き撑設油が主要な 十一間、輸出品は大豆輸入の 十一間、輸出品は大豆輸入の 十四百十九周でその大部分を 600000



**し目下官制憲を氏政節で審晰 統一的訓練を貸すここに決定** 天。承憑、吉林に之を配置し

京、ハルビン、チテハン、春鶴の警察官練習所を設立し新

から地近の米が「ごうです

宝窓

科サックを表の

会主組のたのに耐強に出掛

新京永樂町二丁目六

中である

と云へは

在滿各部隊

方が良い」方が良い」

人營兵

第二本部隊看連

者は

に徹底化するため各省及署目 でが、今回警 級官の訓練を更 をが、今回警 級官の訓練を更

第して午前二 中退職した出席して午前二 中退職に出席して午前二 中退職し九日は兵順縣談會に出席し午後は兵順縣談會に出席し午後

特許萬代襖製作

販賣

風 收 民政部では警察官の向上を副

練習所殺置

案の審議◆○ 日は蒲磯改明 日は蒲磯改明

襖界の革命見!!

いても破れ

n

らため鏡にひ士の採用及び改

居住證明 外國人の

歳に流蔵。理事長に十河綱経・の理並に林端縦軸裁を名響機 回金國为に以扱ひを統一す

> △九日 定で

**中央十一時。同十一** 

は別に質質的。經濟的基礎に改協和に關する文化物立場さ 立即しに疾用の根標を図らん 近く民政部で

全滿外國

十月中の調査

貿易

3州國財政部の調査による十月中の幸福外調貿易は輸出二千七百二萬一千九百八十二國輸入四千八百九十三四十十一萬百八十七國さなつてるらが全出は日本の一千百五十二萬一千百二十七國を築頃に100円百二十三萬四千六百 命智樂部職務河長東切 滿洲國籍令

(特任特殊警装職會止(自任 ) () () 作稅務務督署事務官 <u>國</u>世

命 7 集 8 職 粉 11 是 13

任無相以省公署縣官 任克山縣場官(委任三等) 克山縣屬官

· 大等 轉任專業企譽事務官 · 武波 八号)命順江稅粉幣賢署動

(質性 方。縣屬官 改 幾 通 轉士延吉縣屬官(委任二等) 糖仟珠河縣屬官(安任二等) 黑龍江省公署屬自 珠川縣屬目 税 所

(金)

耐火化量公器

△十日 午後十時。同十一時

この配している 最低等下十三度 さ相勝らずの精動振りに傍の 原源 斯界に於る最高權威 同一和次第四級演員 粹拔目種業營 古元命康訓鮮婦代理内 会庫用 選 第八巻、ボッブ 各種 消火器、ボッブ 各種 の後 事務 用器 一式













西公園

間名多数の場合は抽籤により決定する保証の場合は抽籤により決定す

一、本名網は蘇純馬場線(左紀塔山門)に冠すべきものです。本名網は蘇皓街さして相應しす名網たること 一等 一名 二十国(採油したるものに限る) 一、投票 宮製二銭要害をし一名一案に限る 一、投票 宮製二銭要害をし一名一案に限る 一、投票 京永純町二丁目大阪骨立貿易館内 新山店街名募集米宛 ~ 衛 自力法 締切月日 十二月十三日

飲食店組合の陳情

酒代値上けに就き柳沼組合長網京飲食店組合は既租の通り

### 酒代の 存め 當局で認めず 一律値上げ に凱歌

引上けるべく嘆願書を携へ新京署保安保に出気陳情する處 京署保安保に出気陳情する處 質ら店のみは認可すべして云 化代値上も ひ渡されば 且つ雷局 こしても 間では行届いて居るが組合さ してその區別をつけ改めて出 関すべしさの事であつたさ、 因に新京現在の飲き店中凝る 十八軒のうち催かなるのであるらしい

當分オジャン 二業組合の協議

票合し同署様上で井上保安主婦から組合員七名が新京署に が番音が相當かかるとこを理 められた料金では 吉曼磯路局において戸記の諸 氏州集まり、其後の事業経過 不台環。不便の點につる懇談

長事務主任、貨物主任、高高澤和京驛長、大石配東區

新商店街に

ふさはしい名

一般から懸賞募集

日年後三時半、いつもユコでた出た月が…いやく人方では九

それもその答

うさ档葉係長は笑つて語つたりないさころ。月俸者の分は

地方事務所の傭雇員達へ

環店組合で三三菜組合(参番制きになつた。今附屬地第一科

五本(一本四十銭)さし1三業組合は最初の一時間は

その一席にたさへば音野町をだいぶ市街を形づくつたが。

日大阪府立貿易館新京分館 日大阪府立貿易館新京分館 日大阪府立貿易館新京分館 内委員立會の上審査決定す ウ委員立會の上審査決定す

はてごんなものかさ思つたも を大きく開いて笑つてゐる。 を大きく開いて笑つてゐる。

キット!ミ婆の見してるもご めてゐる、これを見てきつた めてゐる、これを見てきつた ででである。

そこで同じ蒲峨の峨雄事務所

心ほそ

白炭

は遅る

本で一関六十銭に別花さしは最初の一時間は中はり四時間二回。第一料理店組合

他書花碑し花は同様である。その一般から懸賞募集するで一国八十銭さなる。その一を一般から懸賞募集するでやす。即ち二十銭が加つ一ので、町内の委員の最初本で一関六十銭がよる。

一人が共謀で

千圓を横取り

新設驛施設工事で

名稱は商店街さして相應

15一名三十四、

が京銀座で云上如き新商店街によさはしい名を欲しいされ によさはしい名を欲しいされ

取せんさしてるるを新京署池水刑事が發見、婆捕し取調べたさころ住所不定柳鴻江(二八)さて此奴は張甲樹(三二)と共謀し市内各所で自轉車並に荷車を窃取してるたもので健嫌品さして入質中の自轉車をおして入質中の自轉車を指したが余罪多数の見込で逮捕したが余罪多数の見込で

にびす顔が

よ!

**本日開店** 

は嬉

ーナスの

**動不審の領人界が自轄車を窃** 堪配車书任。白川貨物係。

新京支房の関ベによるさが年の同別に比べて二、三度で年の同別に比べて二、三度 三(九日)最高五度八(二日)のてからの最低気温は十四度のである。十二月に入ってからの最低気温は十四度 こゝ數十年間な おの高気壓は滯留の収息にあるのが通例で従つて得寒がつべくわけであるが本年 をから九日朝にかけて移動の温かいのである然し満洲 日間にあつた低氣脈が八日

を除く外これを解除してゐる託は十二月二日以降開始)を 飛機の受託をなさず

九日午後五時ごろ娘の西三追

の異動

い今年の

中二名づつ東西に別りをその頃に射殺し何に たきの急報に接した (H)

乗車券の最質及び手荷物の受陶制昭、総三間における連絡

**北戲連絡** 

開連絡により生獣、獣毛皮 開において引頼いて南7北 の単純

し居合やた魔人鄭嶽(

下全目血眼さつて犯 水も漏さぬ替戒をな でけるあたりから

殺人强盗現る では文州常

寒くなる模様である

衣町三丁目二十五番地ノ四

特許第七〇八七號一熱の素元祖

近代化學の生んだ驚異的發明品

少量の水で一分間に熱が出る!

本器の特長

れは首都警察廳 歳末の假装演習

思つて尋ねたら

てゐる。 分配が終めだのかさ も見さ、こもの既務係の連中 も見さ、こもの既務係の連中 は音沙汰もありません。

**会り殖へたけれごボーナス** 

あす支給

方 工制位で同支店のみで一萬一 ・ 支給されるが日給者仏四、五 ・ 五割位で同支店のみで一萬一

大同學院で 新入生徒募集 應募は十五日から

三回募集を行ふが頻集人員は網洲國では大同馴院生徒の第 **社日から明年一月二十日ま** 卒業校長の推薦部。卒業改績 業見入 望者は募集期間内に腹脈帯へ ならびに配場移校の考査確 みのものを含む) で希

財政部專賣公署 新廳舍移轉

古黒龍選者は十五日移植す **与呉産運営は十五日移植するしたので財政部。 寒慢へ署及** 建設中の第三線舎は愈よ竣工 しきされつた

卒業したもの(昭和九年に至らの間で質格は満人は大學、「日本人」(台灣人を含む)は昭和八年以降に大學および専門學校を ▲丹牛懐一郎氏四平街から羽町二丁目十九番地ノ四へ 前田重正氏(鹿見島縣)入 前田重正氏(鹿見島縣)入

押詰らぬ裡にはやく

今から心掛けぬミ寒い憂目? る。まだこのくらひの寒さで は石炭の出はあまり髪らない が、貯炭は減る一方ださのこ さ、現在ごのくらひあるかさ 十五六車来るこさもあり、五 竹一萬順、到着する石炭は二 分は哈爾賈へ送る では文を忘れて寒さの憂き目 とつてしまふ。今から心懸け とつてしまふ。今から心懸け 努めて華促はしてゐるが…… したが暫く時日が終つで忘ら れてしまふ、歳末は迫つて きの事であった石炭飢饉の來

である。 であるのですが、金に する感じは」

果原氏「紙幣を敷へしをつて

はもう金

質約二、三首の有力な人紅膜の験別伐中昨七日午後十一時 藤木教官以下戰死 班軍を追撃中である の○○除は直ちに出動し目下 の○○除は直ちに出動し目下 がである。磐石縣駐屯

4

果原氏「各々は金の番人です

ですかね」

単くらい来るこさもあり 吉林騎兵OO隊 るないので安りの出来

石碑樹炭坑附属地に潜伏中の瑶盗犯人閻錫林(二七)孫海等(二四)け既和の知く頼京事に檢事され取例べ中のさころお明名は本年五月から吉林

投票場所新京水幔町二丁

同工事の木材三千圓購入に際

料以上は

金ピおもはない

支配 人 栗原重康氏

旧者「氣候風俗が念に變つた

わけですね、きちんが住る

架原氏『慣れてをつても寒いのは真ッ平でもこればかり はごうにもなりませんね年 に一度くらひは日本に歸ら れますか』

紀者「以前はきちらに」

て預金も貸出るの敵な増加

配者「お戯は」 配者「されなら寒いのには相 いる「されなら寒いのには相

ますが事要を境にし

投票官製一銭業者さし一

所登録本ーム施設工事中現場 新登録本ーム施設工事中現場 を有量はれたるを看貨さし が登録本ーム施設工事中現場

し吉林東門外材本商北海&司 に15佐々本栄吉3共謀し九百 に10十回を詐取撰領し二人で山

果して彼等は

个年はあたもかい。 八日の「

一一个夜 ごこのタフェーに立したか、さにかく今夜は市内坡内の飲み屋遊び屋

こさ、貯炭塩へたづれ

さ依然も細いこまを云つてること、貯炭塩へたづねてみる

ないのですが別に帰りたい

んさめつて東京港りで悠長 に生 悟できれば又別です

職に承教される、さになつた したこさを自己。一件書類で したこさを自己。一件書類で

栗原氏「悪いさは思はれませ

栗原氏「これまでは花柳界方面に限らず一般の前人もせまく深く精質をしてゐました。

云る十月一日以來京副線の

事業學過報告

配者「料理屋やカフェーは卵 成の番組さんがさつた腋であ なから午づ安心してよからう

もに版く後くなつたわけで なつてきたので語彙が要す

果原氏「それはマニラが住み

紅匪と遭遇

が何しろ概道の方は他方形 ▲山田茂二氏 千鳥町一丁目十一番地から城長路三百十七號へ 日十一番地から祝町一丁目 本松村幸一郎氏 平安町一丁 ▲小胎 中朝治郎氏 中央通り ▲新名正己氏(宮崎縣)尼ケ枝 四十六番地から羽衣三丁目 町三丁目八香地ノニへ 丁目十二番地ノ四~

館から吉野町四丁目五番地一川上を郎氏 永健町京都族

加藤良房氏 祝町二丁目二 っかき燵炬のず

●近來特許品を稱して粗製類似品を發賣する者あり

滿蒙營業所類京八島通四〇(郵便局出银房真確)

百聞實驗に不如(補給劑は一時間一厘餘)

然電氣も火も捕殺も使用せざらの故に火災等の損絶對な熱の素は特体の化學作用に依り無時間一定の熱を確じ全

十二番地から蒲生町一丁目◆讃岐谷来吉氏 中央通り二 大番地から羽衣町一丁目六 番地から老松町四十番地へ 住吉町一丁

币內販賣所及地方特約店募集

行主良房

日十一番地から浪速町二丁

し三中弁支店に於て實験即費

門から曙町二丁目四番地ノ

各

目二十九番地かる水鹸町一本山成和四夫氏 入船町四丁

皆様の安心して買へる店 良い自轉車を低廉に提供し

自轉車の

十一番地から弾生町一丁目 竪崎健喜氏 平安町一丁目

▲古川小市氏 中央通り二十 一番地から路町一丁目十一

| 日十一號から縁町二丁目八|

へてきびまずか い品が安すか

水柴町二丁目四ノニ

森自轉車商會

電照四八四九掛

御用命は!!

▲伊赖惠氏 大和通り二十三 

便 地中央郵便局 時報保 日馬の迷子 日馬の迷子

皆 電話三三三三番が開通致しました 食道樂 者對町二丁目



ます。波曼の長い方が本名の御承知の如く書品は受信機の

路曲に十徳

のものもずつき簡単な方式

て自由に要するこさが出来ま をの容量又はコインのインダ の容量又はコインのインダ

使用致して居りません。常品では米だごの局も此の式を使用して居ります。然し流

幅され欠は其のましずぐに翻された高周波電氣振動は

才

講

座

一 ではの所で今かし詳しく申し ではないではないでは

る大幅で製作目下質の を関マンチエスターは を関マンチエスターは

引同三 線明

明日のプログラムから

**警石密輸** 

では此の程宗晴しい張遠力ある大師を製作目下實験中である大師を製作目下實験中である大師を製作目下實験中である大師を担ご子ボンドの大

入部長取調べ

打ち下し其の迷力質に一分間がいるさは十五分間位で破壊出の場合に自由自在に働き小継楽物所に自由自在に働き小継楽物

新京放送品

な流の最さができくなつてる な流の最さができくなつてる は大々の方 困りの時に御遠慮なくご注意 数しまして出来る丈鳥飄波炎 数しまして出来る丈鳥飄波炎 もので短い方は第二高調液であるます。常品さしては二つの改送をしてゐるようで成るの改造をしてゐるようで成る

正申しました通り周波数で六五〇キロサイクルだの夫々定められた周波」の高周波収氣振動であります。是は電波さなつて本間を飛ぶ性能は持つてるますが是文では音に選すことは出来ないので是に可聴周波の電流を組合せてやらなけ 「東京八日養國通」曹石密絵 事件取馴中の警視機模音課第 二科片山響部は八日午後三時 程座服部時計店の家宅搜査を 行ひ仕入部主任を参考人さし て取ಝ中である。これは霙に 要石密絵で懐奉されたフラン ス人メレイの品を約三十萬圓 安く仕入れた事件が判明した ためであるさ

個を輸へ下方に調水桶を置き

**け先端に針金を付** 

を蝶番を用ひてラーブルの線 の狭い板の重心を離れた協處 の狭い板の重心を離れた協處

鼠器の使用

・祝のおり 大勉強●内 大勉強●内

詰盛物類一切

祝町三丁目

海の外から 一成帝國保行計畫白耳義幽壁明す 百耳義竭は世界各級に先んじて成帝國標際飛行機建造に着 手する旨此の程堅明、列國を 判明を見たが日下列前住親の は米頭ピカール博士が過段製 成層圏で下層の差界での開係

十日(日曜日) 新京午前十一時五〇分 講演 (回顧さ展墜系) 同) (回顧さ展墜系) 同) 大同二甲帯洲國財界の河顧 講別 中 村 丘 東部 中 村 丘

醫

院

豐泰號三階五號

四二圓圓

も資空管を使用して行つてお もますが鬼に角組合せた戦波 は之を受信して音に歸すここ が出来ものであります。此の あこことが関ご申します。此の あこことが関いたします。此の

同 大時二〇分 (単京より) 同 大時二〇分 (東京より) 同 大時二〇分 (東京より) 同 七時三〇分 (東京より) 四 (東京出り) 一 (東京出り) 一 (東京出り) 一 (東京出り) 一 (東京より) 一 (東京とり) ー (東京とり) (東京とり

和事女月

発用品は記載を

豆腐すき焼

新京中央通門 は物買お 三七八三話霞 店盟加合組入輸

因に空氣壓力減少から生する。 飛行距離が成層関飛行により の目的は水配二つの大利金が の目的は水配二つの大利金が の目的は水配二つの大利金が 同 九時 〇分 講演 (華天より) 華天省警備司令 (華天より) 演奏(華天より) 演奏(華天より) 演奏(華天より)

此に電無振動回路に導かれた ・気振動は其の大部分が電波 間ち、磁波動になつて空間に が内が自効なので日本では 大作一〇〇米が環連になつて を開い方が自効なので日本では 大作一〇〇米が環連になって を開いた。 大作一〇〇米が環連になって を開いた。 では六〇米であります。

いやっに思はれんでもありま ものが多くその内容が殆ご國 神思想の磐及に立脚したもの でありますから現代の如き思 也との非常時には老若を間は ず趣味さ併せて誠によいもの だご思ひます

3

味

従来論曲は男子のみに。られた形になってこかく家族のものから厄介観されてるるかののから厄介観されてるるかのをは個人の方も大いにうなったらよいご思ひます。中等単位の高學年になりますき國語に動の木なごの総曲が出てきますので時に實際にやって聴 無別

\*星シブア事をサオマキとずと妨す話
\*\*タグワナエ ミコナ ラ・ラ メ
テレミピゴピコリピカスノバス 職器
一二一四二六三五二六三二一二一三七
大三〇○○○二五七○一一六六○二五 赤カ甲オムハイポフサブ小氷エ 4 1 ワー ヘリ

えーニュニーニーーニ四四大大

和洋家具

电二四一八香

鍋ちり御手輕に……

総話二九七三番 短光镜照像题的

急患者ハ此限ニ非ズ



Zananamanamanamanamanamanamana

が月正お々愈

たしまきづ近

注文は生地も豐富、

廣

背

銀

行

本日誓間ダンス休ミマス 本十日八弊館開館一週年記念日二付 大舞踏會開催イタシ

行

Ξ 1

電話二九四四三

門泊62月に御注文をお願ひ申

工場にも餘裕める今の中に

たとも明へられてゐる。 これをもつてみても、どうやら これをもつてみても、どうやら これをもつてみても、どうやら これをもつたとはから聞いたという。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

後日がたり

界百九十六回

髙 貴 藥

事質らしい。

ないったとないづれの配。いつの場合でも をいったほどの気等だから、私前部の地合いととして脱電に乗るとなって、とはく西洋へ でないでは、一般によくし立てたのが でないでもなった。とないづれの配。いつの場合でも そして最後にからつけ加へることができたかどうか。その でないでもなった。これなかつた。 そして最後にからつけ加へることができたかどうか。その でないでもないできたからでは、一人に、立花単人とでするる。 そして最後にからつけ加へることができたかどうか。その でないでは、一般にないなった。 そして最後にからつけ加へることができたかどうか。その でないでは、から吹きとさくし立てたのが とをいづれの配。いつの場合でも そして最後にからつけ加へることができたかどうか。その これなかつた。 これなかつた。 これなかった。 これていらの観だが、さすがに手 自新の様身であり、そのないらに、これ、とはく西洋へ たの柔和な相を他へた男があった。 として脱電によった。 としてみるに、それこその非 はよった。 としている。 としいる。 としいる。 としいる。 としいる。 としいる。 といる。 といる。 としている。 としいる。 としいる。 としいる。 としいる。 としいる。 といる。 といる。

钤

京用一條通

不况

を外に大發展

鰻かば焼トざんぶり

三笠町二丁目

輸京新班主店盟加合组入輸

唸を

生じて大評判

商

新京日本領通り

井上誠昌堂真房支店

豫花柳病の 別名 阿都一商行出張所 サンタル商行滿洲出張所 電話三一五五五書 各地著名樂店三里 =

乃至三秒間ニ死滅致シマス ノ注入ニョリ如何ニ强烈ナル病菌モニ ルラ嬰セザル處ニシテ唯一滴眞ノ一滴 ルラリテ其ノ効果ノ的確ナルハ茲ニ喋 乃至三秒間ニ死滅致シマ 定價 八十濟入一何 金貳個 代引 二十七歲

販費み

The second second

本劑ノ內容ハ內務省衛生局ノ御指定ナ V テ瞬時 ニ奏効ス!! 世界的本場印度マイソール政府が十八種 世界的本場印度マイソール政府が十八種 世界的本場印度マイソール政府が十八種 を完成した治林剤はない、問題は白檀の原本中の最良木を以つて本南行の為に が強したる精純無比最高級白檀油にして です、本利は白檀の は始んざありませんこれ本剤の誇にする は始んざありませんこれ本剤の誇にする はかんざありませんこれ本剤の誇にする

定價

切にお奬め申します。他の襲て沿らぬお方に

A

株式教室・サンタル商行 間満洲出張所 電源三十五五名 を実子代回述一六名は を実子代回述一六名は

了五試 十十 球球 入人流 企企企 拾五參

\* 

中央通西公園前

すき

は焼を初めました

何卒御試食下

**御書** 料 理需

富士町二ノ門二

白檀專賣局特製印度政府

設 開 「各種 物療科專門 機髪が数しもアナナズ を計/目 リナ達スル 初年接出縣用於接入 ニートラー カメート カメール ファール ファール ファール アン・おき かい アン・カス アードー りょう かい アン・カス アードー りょう アン・カス アードー リー・カス アードー アン・カス アードー アー・カス アードー アー・カス アードー アー・カス アードー アー・カス アー・

御用は

廣告の

電話二三〇〇谷へ

電話二五〇七番 電話三七九二番 開洲國支部 利洋雜貨 他一般 市食場料 は十二月廿六日よ 代十二月十六日 より 關券は何實上最五面每に五枚連 御式一打宛を 岡一脚毎に其の分割券(五十の